## 実定法学の基礎法学







2010年7月10日(土) 13:00-17:30

## 日本学術会議講堂



## 主催

- ·基礎法学系学会連合(日本 法社会学会、日本法哲学会、比 較法学会、法制史学会、比較家 族史学会、民主主義科学者協会 法律部会)
- 日本学術会議法学委員会

開会挨拶 滝澤正(上智大学大学院法学研究科教授·日本学術会議連携会員)

第1部 報告(13:05~16:00)

司会: 奥山恭子(横浜国立大学大学院国際社会科学研究科教授) 小森田秋夫(神奈川大学法学部教授:日本学術会議連携会員)

趣旨説明 水林彪(一橋大学大学院法学研究科教授)

報告 I 小川浩三(桐蔭横浜大学法務研究科教授)

「法学の学問性――比較法学史の観点から」

報告Ⅱ 会沢 恒(北海道大学大学院法学研究科准教授)

「法をめぐる言説と法形成過程――現代アメリカを参照して」

報告Ⅲ **尾崎一郎**(北海道大学大学院法学研究科教授)

「法に関わる主体の社会学的条件」

## 中間討論

報告 $\mathbf{N}$  吉田克己(北海道大学大学院法学研究科教授 $\cdot$ 日本学術会議連携会員)「法教義学の性格とその現代的意義――フランス・モデルを念頭に置きつつ」 報告Ⅴ 西谷 敏(大阪市立大学名誉教授)

「法発展における裁判と法解釈学――労働法の立場から」

報告Ⅵ **亀本 洋**(京都大学大学院法学研究科教授)

「難事件における法的思考の特徴――利息制限法判例を素材にして」

第2部 総合討論(16:00~17:30)

司会 楜澤能生(早稲田大学法学学術院教授:日本学術会議連携会員) 小森田秋夫(神奈川大学法学部教授:日本学術会議連携会員)

閉会挨拶 広渡清吾(専修大学法学部教授·日本学術会議会員·第I部部長)